

地区名 大仙市・仙北市・仙北郡

所在地 大仙市矢向峠付近

バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

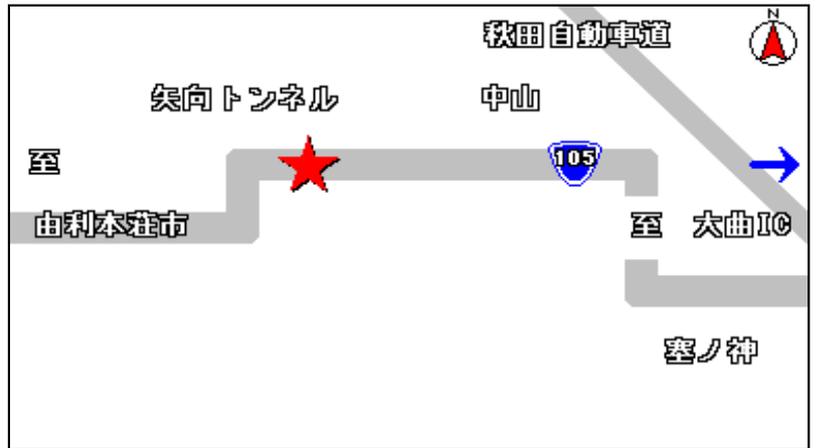
由利本荘市と大仙市を結ぶ国道105号線の矢向トンネル付近にある。由利本荘方面から進むとトンネルを抜けて左手に広がっている。

安全上の留意点

何よりも場所が広大なため、あらかじめ活動範囲を限定するなど児童の動きを掌握する工夫が必要。露頭面が柔らかいので、むやみに崖に登ることは避けさせる。  
国道105号線沿いの車通りが比較的多い場所に観察場所があるので、交通事故には十分注意する。

観察のポイント

- ①大きな地層の広がりを感じる。
- ②地層が奥まで続いていること。
- ③泥岩しか見あたらないこと。
- ④角ばった火山岩が見あたらないこと。



地質年代

新第三紀中新世後期(約1000万年前頃)

解説

船川層と呼ばれる比較的柔らかい泥岩の層が観察できる。観察場所に向かうまでの道端には角の取れた丸い礫も落ちていることがあるが、この地層由来のものではなく外部から持ち込まれたものである。

泥岩を割ると化石が見つかることがあり、泥しか(粘土しか)ないことと併せて「水のはたらき」でできた大地であることを判断できる。

露頭に植物が水平に生えているが、これはそこで地層が変化しているのではなく、削られて棚になり、水がたまりやすいためであると説明するとよい。

露頭概観

指導形式

B



柔らかい泥岩の層が広がっている。柔らかいということは崩れやすいということの裏返しでもあるので、むやみに登って観察することは避ける。



手に取るとその柔らかさがよくわかる。移植ベラで地層を掘って、奥まで続いていることを確かめさせることも可能。



泥岩を割ってみると、化石を発見することもある。小さいものなので、ルーペで観察する。ふざけて太陽を絶対に見てはいけない(失明する)